

外国語活動（英語活動）の実践

守谷市立守谷小学校

1 はじめに

本校では、守谷市の目標である「外国語活動を通して、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度や能力を育て、言語、文化、生活、習慣などに対する理解を深め、国際理解の基礎を培う。」を基盤に、積極的にコミュニケーションを図れるように、英語の歌を歌ったりやゲームを通してのコミュニケーション活動を取り入れて、児童が楽しく活動できるように授業の工夫を行ってきた。

2 具体的な実践

(1) 特例校としての取り組み

① 低学年の実践

低学年の英語活動では、具体的な活動や体験、言語活動を通して、「伝え合い、交流し合い、気付き合う」ことができるよう取り組んできた。生活科の目標(2)「自分と身近な人々、社会及び自然との関わりに关心を持つ」では、「like」「have」「play」「eat」を使って「Do you ~?」「yes, I do. /No, I don't.」「I (play) ~. /I don't (play)~.」を学習し、いろいろな場面を設定して、友達とコミュニケーション活動を行った。また、(4)「生活上必要な習慣や技能を身に付けること」では、「いろいろな国のかいさつ」をジェスチャーを交えながら、友達と交流し挨拶の大切さを学んだ。

② 中学年の実践

中学年の総合的な学習の時間は、「守谷のひみつたんけん隊」、「自然の中の自分～環境を考えよう」をテーマに取り組んできた。英語活動では、それに関連して言語材料に自然や守谷の史跡名称、環境問題から「公共施設名」を取り入れて「I go to ~.」などの学習を行った。また、ハロウィンやクリスマスのテーマでは、ALTの母国の自然や文化についても知ることができた。

(2) 小中一貫教育の視点を意識した取組

高学年では、communication challengeを毎回授業で行ってきた。Phonics (a i u e o) を文字と発音に照らし合わせながら単語の発音の練習に取り組んだ。中学校に向けて、自己表現力をつけるために、簡単な場面を設定し、グループやペアになって、コミュニケーション活動を行ったりした。

3 学校独自のアプローチ

(1) 給食時の英語のシャワー

給食の時間に英語の歌やALTによる英語での放送を行っている。

英語の歌やnativeな英語を聞くことにより英語に慣れ親しむ事ができると考える。

(2) 英語クラブ、6年生のアイデア

ハロウィンやクリスマスの時期には、休み時間にそれぞれの衣装をまとい、各教室を回って「Trick or treat」ゲームなどを行った。

(3) 中学校区のALTや保護者の協力を得て英語の授業を行った。

(4) 日本語を使わないでの授業の実施（クラスの実態に合わせて）

4 成果と課題

今年度は、6年生はもとよりどの学年でもcommunication challengeを意識して授業を行っている。1年からALTによるnativeな英語を聞くことにより、きれいな発音で英語を表現することができるようになってきている。また、ALTが同一校2年目であるので、担任の連携もとれ、児童の実態に応じた対応ができる。

先日、校内でアンケートを実施した結果、英語の授業で「英語の文字を書いたり読んだりしてみたい」という声も半数以上あった。今後は、中学校との接続も考えて「読むこと・書くこと」も検討していきたい。